

2025年度熊本YMCA定時会員大会

ご質問への回答

2025年度定時会員大会のアンケート・質問用紙に寄せられたご質問に以下の通り回答いたします。

1. 2024年度公益財団法人の赤字の理由は？

- ・ プログラム会員の減少による授業料収益目標額の未達成。
- ・ 会員減少による対策として参加費改定を行ったが、予定していた効果まで至らなかった。
- ・ 上記により、公益事業の収支差が予算を下振れしたことから収益事業と合算しての収支差決算額がマイナスとなった。

2. 2025年度公益財団法人の黒字に向けた改善とは？

- ・ 公益事業ウエルネス・グローバルセンターのプログラムリニューアルを行う。
- ・ 指定寄付・一般寄付金収益を確保するための年間での仕組みづくりを行う。
- ・ ホームページやデジタルツールを改善し、広報募集の強化を行う。
- ・ 組織内でのデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、固定費の抑制に着手する。

3. 2024年度の決算額を踏まえたときの2025年度の収支差予算額の妥当性はどうか。

- ・ 2024年度の決算額を踏まえると、2025年度の目標は決して低くはないが、以下の強化ポイントに対して徹底して取り組む。

公益財団法人

- 2. に掲げた行動目標を達成することが、2025年度の収支差予算達成のためのポイントである。

学校法人

専門学校における専門性の追求とグローバル化の強化・推進。

幼稚園、・発達支援を含んだ子育て・子育て事業のリブランディングを発信。

社会福祉法人

阿蘇市における保育事業のみならず、新たな事業活動・拠点での展開を発掘。